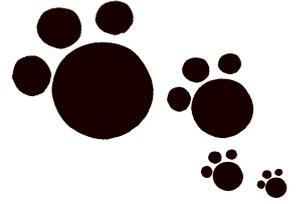




～看護部から～

糖尿病のお話 ～あなたの足は大丈夫？フットケア～

看護師長 田村 チエ子



今日の糖尿病治療は、合併症の治療に重点がおかれており、大切なことは早期発見による早期治療ですが、合併症を進行させないことも重要なことです。

今回は糖尿病合併症の中でも、神経障害が招く足病変の予防のためのフットケアについてお話したいと思います。

糖尿病と足は、意外なほど強い関係があります。普通、日常生活で足に気を使うことはほとんどありませんが、糖尿病があると足の手入れが非常に重要になります。糖尿病で血糖値が高い状態が続くと、よく言われる神経障害のほか、動脈硬化などによる血流障害が起こりやすく、また細菌や水虫などの感染に対する抵抗力が低下します。

神経障害があると足の痛みや温度に対する感覚が鈍くなり、ケガやヤケドに気づきにくく、放置し手遅れとなり足を切断しなければならないこともあります。さらに、動脈硬化などが進行し血流障害が起きると、体の末端、特に足の先などには血液が流れにくくなり、細胞が必要とする栄養や酸素が十分にいきとどかなくなります。そして、体の抵抗力の低下により傷口が化膿しやすく、傷の治りも遅くなります。結果的に、糖尿病足潰瘍・壊疽になります。現在、世界で30秒に1本、糖尿病患者の足が切断されているといわれており、日本でも糖尿病患者の15.6%（約6人に1人）が神経障害、1.6%（約60人に1人）が足壊疽の合併症を発症しているといわれ、年々増加しています。

怖いお話をしましたが、足を守るために最も大切なことは良好な血糖コントロール、さらに日常での足のケアが有効だとされています。

当院では、フットケアの教育を受けた看護師による指導を行っています。糖尿病で治療を受けている方、まずは、医師・看護師にご相談下さい。

■ボランティアコンサート■

ボランティアによるコンサートを開催いたします。

「走り回るほど忙しい月」になりましたが、ひととき、耳を傾けてみませんか♪

【日 時】12月10日（水）
14：00～

【場 所】1階 玄関ホール

■成章小・中学校 クリスマスコンサート■

成章小学校・中学校吹奏楽部によるクリスマスコンサートを開催いたします。

生演奏による心温まるお時間をお過ごしください♪

【日 時】12月18日（木）

【場 所】1階 玄関ホール

